

私達の仲間、家族、友人達は、この日本橋を基点に於いて職を営んでいる事に大いなる情熱と誇りを持っております。

この度、創立5年目を迎える東京織物卸協同組合の9代目理事長を拝命致す事になりました私自身も、この日本橋に生きる人間の一人として、些かの誇りと喜びと自信を持ちながら、日々の活動に従事しております。

江戸時代400年の歴史、伝統を誇り、更に世界を視野に未来に向かってまい進して、希望に満ちた共同体を築き上げたいと考える次第であります。

ちなみに、近未来のターニングポイントとして、5年後の2020年、東京オリンピック・パラリンピックが控えておりますが、この時期日本は、東京は、そしてこの日本橋は、どんな姿かたちで有りたいか。

もちろん、2020年は到達点ではなく、将来の世界の中で私たちはどう有るべきかの第1ゲートと言う意味で考えを進めて行きたいと想っております。

私達は、400年前に偉大なる生活文化に華開いた「江戸文化」の継承者でありまた未来へ向かって進化させて時代を継ぐ「リレーランナー」としても、大きな責任を持っています。

偉大であった先人たちの教えを受継ぎながら、更に現代から近未来に向かって新たな知恵やテクノロジーを研鑽して新しい「日本橋文化」への夢を実現すべく努力して参りたいと考えます。

最近、「江戸ルネッサンス」として日本古来よりの伝統文化、特に日本独自の生活マナー、和食、和の生活空間、そして「和」を超越した国際的なテクノロジー等がアピールされ、外国人観光客が年間で1,340万人を超え、その売上は2兆円を超えるほどの実績につながっているのもご承知の通りです。

ちなみに、2015年3月15日新たに開通した北陸新幹線のコンセプトは、「和の未来」と言う壮大なテーマで既に具体化しています。

私達は、江戸に戻るのではなく、江戸を出発点としたこの日本橋を基点として美しい文化、そして新しい力を備えた日本橋文化の創造を目指して、世界的な視点で新しいアングルから更に発展、進化して行こうではありませんか。

同時に、健康維持に関しましても公私共に啓蒙を勧めてまいり所存であります。